

～楽しい演奏で観客を魅了～
四国中央市民吹奏楽団定期演奏会 8/24 (土)



土居文化会館（ユ一ホール）で四国中央市民吹奏楽団による第23回定期演奏会が行われました。演奏会は3部構成で行われ、演歌や定番曲、またアニメ主題歌なども織り交ぜた構成で、訪れた観客は、聞き覚えがある曲やなじみのある曲など、親しみやすい演奏を楽しみました。

翠波高原
コスモス祭 8/18 (日)



翠波高原でコスモス祭が開催されました。今年は、約半数のコスモスが鹿などにより食害に遭いましたが、家族連れなどが散策していました。会場では、市内の物産販売、お楽しみ抽選会などさまざまなイベントが行われ、来場者は、爽やかな高原の風とともに楽しんでいました。

～三百余年の歴史を感じて～
新宮鐘踊り奉納 8/25 (日)



新宮西庄の大西神社で、県の無形民俗文化財に指定されている鐘踊りの奉納が行われました。今年の奉納は悪天候のため、神社境内横の旧西庄小学校講堂内で行われました。ですが会場には多くの観客が詰めかけ、子どもらが一生懸命に舞う姿に見入っていました。

～緊急時の連携強化～
新宮分遣所新築工事安全祈願 8/23 (金)



新宮町馬立の長瀬生活改善センター隣で、新宮分遣所新築工事の安全祈願祭が行われました。災害など緊急時の消防署と新宮方面隊との連携強化と消防防災力のさらなる向上を目指し、同分遣所を土砂災害警戒区域外に移転新築、消防団新宮方面隊本部や備蓄倉庫を一体的に整備する予定です。

～大人になった時の大切な思い出に～
妻鳥小学校色紙手すき体験 8/25 (日)



妻鳥小学校で妻鳥愛護班連絡協議会による手すき体験が行われました。妻鳥小学校6年生62名が手すきを体験して色紙をすきました。子どもたちがすいたこの色紙は、自分たちの卒業式で、校長先生が6年生一人ひとりに送る言葉を書いて、卒業記念として渡されます。

～「食」への感謝を込めて～
第9回学校給食米収穫祭 8/24 (土)



土居町津根の干拓で第9回学校給食米収穫祭が行われました。[『食』への感謝の気持ちを感じてほしい]との思いから、地域の方々の多大なご協力の下行われているものです。今年はいいにくの天気となりましたが、市内全域の小学校から多くの子どもたちが参加し、参加者数は約350名にもなりました。

～市スポーツチャンバラ協会仁武館～
全日本選手権大会で入賞 9/19 (木)



市スポーツチャンバラ協会仁武館(河村直仁代表)の8名が市長を表敬訪問しました。7名の選手が全日本選手権大会に出場し、それぞれ部門別に寺尾力也君(三島高校2年)と山口航太君(三島東中学校3年)が優勝、井川啓貴君(川之江高校3年)が第3位に入賞したことを市長に報告しました。

～月明かりの中情緒を楽しむ～
暁雨館で観月会を開催 9/19・20



暁雨館で、今年で10回目となる観月会が開催されました。毎年中秋の名月に行われるこの観月会ですが、次に中秋の名月で満月を楽しめるのは8年後ということもあり、会場には多くの方が訪れ、静かに照らす月明かりの下で琴や横笛の演奏にしっかりと浸っていました。

私は、立場上、時として、語気強く発せざるを得ないことがある。そんな時は、必ず少しへこんでいる。ある時、後輩の県議から「篠さんの人生は山中鹿之助のように七難八苦のようなもんよ」と言われたことがあったが、なにがあっても、ありのままを受け入れられる柔軟さがあると思ってる。先日、訪ねてくれたある銀行の幹部の人に、県議の時より上品になったと言われ、若干複雑な気持ちになった。みんな、一歩前の気持ちで、ご飯だけは、一生懸命食べようね!

～敬老の日 市内各地で敬老会～
市内最高齢者にお祝い状贈呈 9/16 (祝)



敬老の日にあわせ、市内各地で敬老会が開催されました。また、市内最高齢者である下柏町の河端サハエさん(108歳)に、篠原市長と宇高議会議長からお祝い状やお祝いの品が手渡されました。河端さんは、とてもお元気な様子でお祝い状を受け取っていました。

東アジアリトルシニア野球大会で3位入賞
伊予三島リトルシニア 9/17 (火)



東アジアリトルシニア野球宮崎大会で入賞した伊予三島リトルシニアのメンバーが市長を表敬訪問しました。8月17日～20日に宮崎県で開催された同大会で、伊予三島リトルシニアが3位入賞を果たしました。また、優秀選手として、安藤逸樹君が選出されました。

人は、それぞれ、いろんな思いを抱えて生きている。他人から見れば、何のトラブルもないように見える家庭でも、中に入れば雑多な難問を持っている場合もある。小さき者は、その年齢にあったものを、年長者は、その人生経験を持つ故に、心が痛むものが見えてくることもある。落ち込んでしまっている人に、がんばれという励ましは、禁句だと言われている。自分は何度となく落ち込んでしまったことがあるから、その言われていることはよくわかる。30代の半ばのころ、6畳のアパートの天井を見上げて、一週間ほど、過ごしたことがあった。ある時突然、考えるのが馬鹿らしくなると、現世に帰ってくるのができたこともあった。

今の立場も、公的任務で難問を一杯背負っている。当たり前であると納得しているが、すべてが、羊羹を切るように、心中深くあるものまで、割り切っていくものではない。職業を問わず、みんながそんなもんだろうと思えば、多くの人は、日々懸命に生きているのだと思ってる。

時間があれば、村松のお大師さんのところへ、ここにちわちわと言ってお線香をあげにいこう。何を言っても、返事が返ってくることはない。まあいいか、と自己満足して帰ってくるのである。人は、ちよっとした他人の言葉に、傷つくこともあれば、反対に、元気になることもある。

市長の
ひとりごと



四国中央市長
篠原 実
テーマ
心中深く!

～暴力のない明るく住みよいまちへ～
四国中央市暴力追放推進大会 9/7 (土)



伊予三島運動公園体育館で、四国中央市暴力追放推進大会が開催されました。これは、市民、警察、行政が一体となり、暴力のない安全で安心な明るく住みよい街づくりを目指して行われたものです。大会で行われた講演では、約700人の参加者が暴力団の現状や対策など真剣に聴いていました。

～県から「優良青少年団体」表彰～
ボーイスカウト四国中央第二団 9/3 (水)



ボーイスカウト四国中央第二団(藤田正臣代表)のメンバーが市長を表敬訪問しました。同団は、結団以来これまで14年を超える積極的な活動を通じ、地域を知り地域に貢献できる青少年の育成を行ってきた功績が認められ、県から「優良青少年団体」として表彰されました。

～紙漉きの技術を学ぶ～
ラオスから研修生2名が来市 9/13 (金)



ラオスからの研修生2名が市長を表敬訪問しました。ラオスからの研修生計4名が香川県の「うちわ産業振興支援プログラム」により、同県丸亀市を訪れており、その内の2名がうちわ製作にかかる和紙漉き技術の研修を紙のまち資料館で行うため、来市されました。

～スポーツ振興連携と交流拡大を～
四国まんなか市長サミット 8/28 (水)



県紙産業技術センターで、第3回四国まんなか市長サミットが開催されました。観音寺市・三好市・本市の県境を接する3市で組織する四国まんなか交流協議会の主催によるもので、スポーツ振興をテーマとした講演やパネルディスカッションが行われ、約120人の傍聴者は興味深く聴いていました。

～四国中央ふれあい大学～
間寛平講演会 9/1 (日)



市民会館川之江会館で「間寛平講演会～アースマラソンを終え、未来へ～」が開催されました。講演では、アースマラソンを実行したきっかけや過酷な行程がうかがえる裏話、人との絆の大切さ、持ちネタを交えた巧みな話術で、来場した約350人を楽しませました。

ふるさと納税寄附金で
三島東幼稚園通園バスを購入 9/2 (月)



ふるさと納税寄附金で購入した三島東幼稚園通園バスが、運行開始されました。ふるさと納税制度は、本市のまちづくりを応援していただくための制度であり、みなさんの想いを寄附という形で寄せいただくものです。今後も「ふるさと納税」へのご協力をお待ちしていますので、よろしくお願いします。